

マーケットの動き（2023年7月10日～7月14日）

先週の米国株式市場は、前週末比で上昇しました。

12～13日に発表された6月の米国CPI（消費者物価指数）と米国PPI（卸売物価指数）が下振れしたことや、週間で発表される米国雇用指標は労働市場の底堅さを示したことから、景気を損なうことなくインフレ圧力を抑えられるとの見方が強まり、米国株式は堅調に推移しました。

欧州株式市場は、おおむね米国に連動した推移となりました。

投資環境見通し（2023年7月）

外国株式相場は、米国、欧州とも上値の重い展開

企業業績については、インフレ高止まりによる個人消費の減速や銀行の貸出基準厳格化に対する警戒感から、業績見通しが引き下げられる可能性は残ります。米国株式相場は、底堅い経済指標や堅調な労働市場から景気のソフトランディング見通しが高まりつつありますが、銀行の貸出基準厳格化を受けた企業業績に対する警戒感や、高インフレの継続を受けたFRB（米国連邦準備制度理事会）の追加利上げ観測もあり上値の重い展開を予想しています。欧州株式相場は、依然として高い水準のコアインフレ率を背景としたECB（欧州中央銀行）による追加利上げ観測から、米国市場と同様に上値の重い展開を予想しています。

	7月14日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	4,505.42	2.42%	3.04%	12.66%	18.86%
NYダウ	34,509.03	2.29%	1.56%	0.60%	12.66%

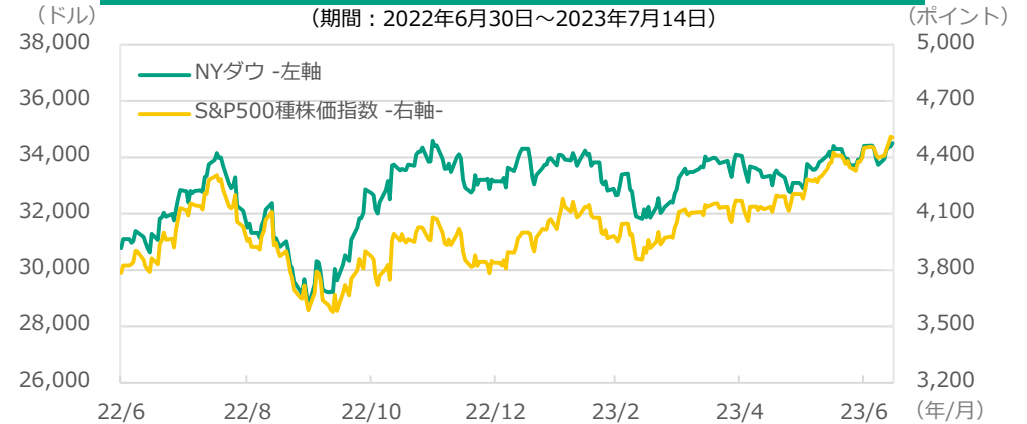
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

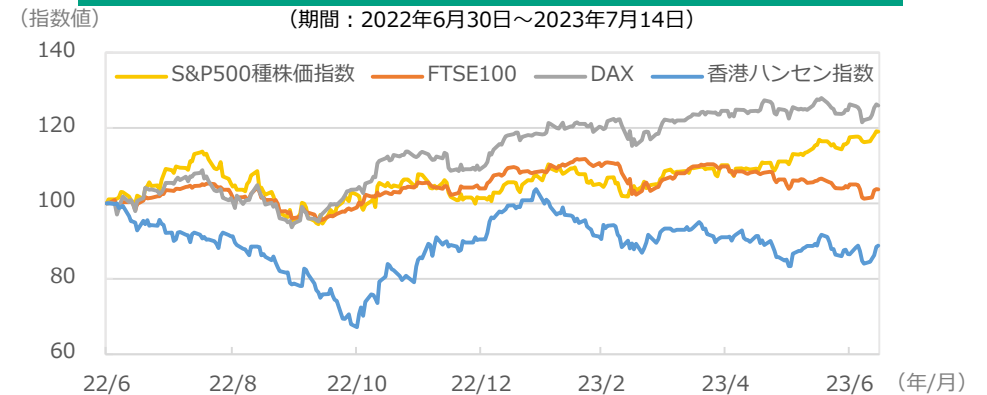
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202307_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2022年6月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成